

第 341 回 ILO 理事会

ミャンマーに関する ILO 労働者グループの声明

民主主義への復帰と結社および平和的集会の自由に対する基本的権利の尊重を求める

2021 年 3 月 27 日

議長、

ILO の労働者グループを代表して、2020 年 11 月にミャンマーで行われた国政選挙の後、2021 年 2 月 1 日にミャンマー軍が起こしたクーデターを強く非難します。

ミャンマーの状況は日に日に悪化しており、軍は弾圧をエスカレートさせています。自宅や職場、路上で人々が殺害されています。

すでに子どもを含む 300 人以上が死亡し、約 2,000 人が逮捕されていますが、その数は増え続けています。ミャンマー国軍の日である 3 月 27 日、少なくとも 100 人以上が殺害され、2 月 1 日以来、最も死者が多い日になったとの報告を受けました。

工業地帯は危険地帯と化しています。労働者たちは、結社の自由や平和的抗議の権利を行使することで、ますます死の危険にさらされています。

CTUM の会長であるマウンマウン氏は、ILO 理事会の元メンバーであり、彼の組合の 25 人のリーダーは軍から指名手配されています。他の労働組合のリーダーたちも監視下に置かれており、多くの人が身を潜めています。

労働者は、死の危険や強制労働のリスクなしに、結社の自由と平和的抗議の権利を自由に行使できなければなりません。

私たちは、軍とその企業への支援を凍結した国々がとった措置を歓迎します。

私たちは、軍とのビジネス関係を停止したすべての企業を称賛するとともに、他の企業にも同様の措置をとるよう呼びかけます。

軍は、ミャンマー国民の殺害と抑圧をやめ、市民的不服従運動に参加したために逮捕・投獄された労働者や市民を直ちに釈放しなければなりません。

労働者グループは、立憲民主主義への復帰と、2020 年 11 月の選挙結果の尊重を求めるミャンマーの労働運動の呼びかけを全面的に支持します。

私たちは、昨日、ILO 理事会が採択した、軍当局に対し、国民の意思を尊重し、民主的規範を尊重し、民主的に選出された政府を復活させることなどを求める立場を歓迎します。

私たちは、この非常に暗い時間の中で、労働組合の仲間、労働者、ミャンマーの人々と連帯しています。

ありがとうございました。